

### 複雑化する課題の解決のための ワンヘルスアプローチ導入

Tracey Goldstein

コロラド州立大学ワンヘルス研究所所長



トレーシー・ゴールドSTEIN氏は、コロラド州立大学のワンヘルス研究所所長であり、微生物・免疫・病理学科教授、及び免疫学・微生物学の准教授。コロラド州立大学に着任する以前は、2020年から米国国際開発庁(USAID)のグローバルヘルス局エマージング・スレッツ（新たな脅威）部門のチーフを務め、パートナー国や国際社会と協力して将来の新興感染症の脅威に対する備えを強化するグローバルヘルス・セキュリティプログラムを主導。現職以前は、カリフォルニア大学デービス校の病理学、免疫学、微生物学部の教授を務めるとともに、同校のワンヘルス研究所の副所長を務め、人、野生生物、環境の健康を理解するための研究や、海洋哺乳類のウイルス学的診断サービス等に関するプログラムを運営、10年にわたる世界的なPREDICTプロジェクトの共同研究責任者を務めた。また、海洋哺乳類の不自然死に関するNOAA水産ワーキンググループの議長を務めており、現在もワンヘルスアプローチを実践し、人、動物、環境の健康と疾病に焦点を当て続けている。

新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的大流行）は、環境や動物の変化がヒトの健康にどのような影響を及ぼすかを示す強力な一例である。新型コロナウイルス感染症のパンデミックを受け、公衆衛生を最高レベルで守るためのワンヘルスアプローチの導入について多くの関心と議論が交わされ、現在ではWHOパンデミック条約やG7・G20の政策文書を含む多くの文書にワンヘルスが盛り込まれている。同時に、ワンヘルス導入とはどういう意味か、動物、人々、地域社会の健康を改善する利点をどのように説明するかについての理解不足も見られる。

ワンヘルスは独自の学問分野などではなく、むしろヒト、動物、環境間の健康のつながりを認識するアプローチであり、動物、人々、植物の接触領域にある複雑な問題に取り組むのに適している。ワンヘルスの導入を成功させるためには、医学、獣医学、公衆衛生学、環境科学、社会科学、工学、他、多くの分野の専門家の協力が必要である。

メッセージは明確である。現代の健康問題解決の鍵は、世界的な土地利用の変化、気候変動、食の安全、感染症に関連する課題などへの対処を含む地球規模の複雑な問題に対する解決策を見出すために、地元、国、地域、そして世界的レベルで効果的なパートナーシップと協力関係を育むことである。今こそ、ワンヘルスにとって、そして研究機関にとって、ワンヘルスアプローチの導入が、動物、人々、そして地域社会の健康改善にどのように目に見える利益をもたらすかを示し、道を先導する、極めて重要な時である。